

平成27年10月

各 位

一般社団法人日本ダクティル鉄管協会
関 西 支 部

（一社）日本ダクティル鉄管協会 関西支部主催
講演会のご案内

皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は日本ダクティル鉄管協会に対し格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当協会では、水道事業体の皆様等を対象に、下記の講演会を開催させて頂くことといたしました。

ご多用中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、参加下さいますようご案内申し上げます。

記

1. 開催日 平成27年11月25日（水） 午後1時30分より （受付は午後1時より）

2. 開催場所 国民會館住友生命ビル12階 武藤記念ホール 大ホール **別添資料-1**
住所：大阪府中央区大手前2-1-2 ※車でのご来場はご遠慮下さい。

3. 講演内容 **別添資料-2**

① 13：35～15：05

講演 「災害多発時代を迎えて」

～南海トラフ地震にそなえる～

講師：山口大学副学長 大学院理工学研究科教授 三浦 房紀 様

② 15：20～16：10

技術説明 「ダクティル鉄管の耐震性および長期耐久性」

講師：（一社）日本ダクティル鉄管協会 技術委員

③ 16：10～16：40

技術説明 「S50ダクティル鉄管の設計と施工について」

講師：（一社）日本ダクティル鉄管協会 技術委員

4. 参加費 無料（交通費は各自でご負担願います。）

5. 参加申込 **別添資料-3**

参加希望者の所属、氏名をご記入の上、11月18日（水）までに、参加申込書をE-mailまたはFAXにてご送付をお願い致します。

なお、誠に勝手ながら会場の都合上、定員になり次第、申込みを締め切らせていただきます。

6. 連絡先

ご不明な点がございましたら、以下までお問い合わせ下さい。

（連絡先） （一社）日本ダクティル鉄管協会関西支部
宮田 実紀 [E-mail : m-miyata@jdpa.gr.jp]
TEL 06-6245-0401 FAX 06-6245-0300

以上

國民會館

大阪府中央区大手前2-1-2
TEL 06-6941-2433

<交通> 地下鉄谷町線 天満橋駅 3番出口より徒歩3分
京阪電車 天満橋駅 東出口より徒歩6分



國民會館

平成27年11月25日 講演会スケジュール

時 間	内 容	講 師
13:00～13:30	受 付(国民會館住友生命ビル12階 武藤記念ホール 大ホール前)	
13:30～13:35	開会挨拶 および 事務連絡	
13:35～15:05 (90分質疑含)	<p>講演 『災害多発時代を迎えて』 ～南海トラフ地震にそなえる～</p> <p>講演概要: 日本は、というよりも環太平洋域は20世紀末から地震、火山噴火による大災害が多発しています。このような災害多発時代を迎えて、何をどう備えたらよいかを考察します。 まず、東日本大震災の教訓は何かを考え、そして近い将来必ず発生する南海トラフの巨大地震にどのように備えたらよいかを考えます。 また、最近頻発している大型台風、ゲリラ豪雨による災害、特に土砂災害についても言及します。</p>	<p>山口大学副学長 大学院理工学研究科教授 三浦 房紀 様</p>
15:05～15:20	休 憩	
15:20～16:10 (50分質疑含)	<p>技術説明『ダクタイトイル鉄管の耐震性および長期耐久性』</p> <p>説明概要: 平成25年3月に策定された新水道ビジョンでは、「安全な水道」・「強靱な水道」・「水道サービスの持続」があげられており、今から50年・100年後の将来を見据えた長期に安心できる水道管路の構築が重要とされています。 ダクタイトイル鉄管は長年にわたって実際に使用されている管路で耐震性と長期耐久性の調査をしており、これらの調査結果からダクタイトイル鉄管が長期的に安心してご採用いただける理由をご紹介します。</p>	<p>一般社団法人 日本ダクタイトイル鉄管協会 技術委員</p>
16:10～16:40 (30分質疑含)	<p>技術説明 『S50ダクタイトイル鉄管の設計と施工について』</p> <p>説明概要: 近年、多発している大地震に備えて管路末端部までの耐震化や、水需要減少に伴う水量の適正化が求められています。 このような背景のなか、呼び径50の耐震管として開発され、JDKA規格化されたS50形ダクタイトイル鉄管の構造、設計および施工について説明を行います。</p>	<p>一般社団法人 日本ダクタイトイル鉄管協会 技術委員</p>
16:40～17:00	閉会 (アンケートご記入)	

